

第3 評価・検証

これまでの景観に関する取り組みについて、市民の声を聞くなどのアンケート調査を行ったり、成果指標の達成状況をそれぞれ評価し、今後へ繋げるための総合的な検証と課題抽出を行った。

○取りまとめ方法

下記様式に「成果指標」と指標に対応する「実践施策」それぞれの評価を表記し、全体の検証欄に総合的な検証結果と課題を表記する。

(様式)

No.											
成果指標・目標水準	指標		目標値 (従前値)		評価						
			調査値								
	成果指標		評価			アンケート・ヒアリングの結果による市民の評価					
	主な意見 (アンケート)	(アンケート回答者のコメント等)									
主な意見 (ヒアリング)	(ヒアリング回答者のコメント等)										
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)									評価	
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業による景観形成	他の施策・事業と連携	
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構	これまでに行われた取り組みに対する評価	
各評価をもとに検証した結果や抽出された課題											

1											
成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	95% (91.1%)	評価						
			実績値	87.7%							
	(全体指標) 日頃の生活の中で景観を意識する市民の割合			評価	☹						
	主な意見 (アンケート)	【指標に関して】 ・身近な景観の変化、移ろい(問1) ・散策時に景観を楽しむ(問1) ・良い景観、悪い景観があると意識する(問1) ・あまりにも汚いところは目に留まり意識する(問1) ・緑や公園の美しさにほっとする時(問1) 【施策に関して】 ・知らなかった、アンケートではじめて知った(問8) ・知らなかったが、以前より良くなった気がするのには取り組みのおかげかもしれない(問8) ・取り組みによって何が変わったのかわからない(問8) ・身近ではないと感じる(問8)			日常的に景観を意識すると答えた市民は、半数を超えた。また、身近な景観の移り変わりや緑などを意識するという意見が多く、意識する景観に若干の偏りがみられた。						
主な意見 (ヒアリング)	・他自治体と比べて町田市は等別に文化財などの景観資源が多いわけではないが、なくても景観に対してもっと意識を持つことが大切なのではと思う。(事業者団体)										
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)									評価	
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業景観形成	他の施策・事業と連携	□街づくりフォーラム □景観づくりセミナー(ワークショップ) 参加した市民が実際に市民活動に取り組むなど、普及啓発の効果が表われている。 また、「まちだ景観ワークショップ」による中心市街地のまち歩きの実施は、駅前の景観について参加者自身が考えるきっかけとなった。
	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
○	○			●	●	●	●	○			

全体の検証

自然景観については日常的に意識されているが、さらに生活・文化景観などに対しても意識を持ってもらう必要がある。
生活風景に魅力と豊かさを感じられるまちを目指すため、生活風景の大切さに気付いてもらうことから育む景観づくりの実践へと繋げていくことが重要である。

2											
成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	50.0% (29.6%)	評価	<p>景観の変化を意識してもらおうことや、取り組みをより市民へ浸透させることが、市内景観に対する印象に影響することを踏まえ、市民・事業者・行政それぞれの立場から連携し、景観づくりを推進していくことが求められる。</p> <p>また、市内全域の景観まで意識したことがないという意見が多く見られたことを受けて、指標の表現について検討が必要である。</p>					
			実績値	34.6%							
	(全体指標) 市内全域の景観について「非常に良い」「良い」と感じる市民の割合		評価	☹							
	主な意見 (アンケート)	<p>【指標に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境の変化が激しいように感じる(問2) ・地域差が大きい(問2) ・特徴がない(問2) ・建物に統一感がない(問2) ・道路が狭いと感じる(問2) ・住んでいるところしか分からない(問2) ・良い印象を持ったので今の地域に住んでいる(問3) ・特に印象に残るものではない(問3) <p>【施策に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らなかったが、以前より良くなった気がするの取り組みのおかげかもしれない(問8) 					<p>前回調査から若干の上昇傾向にあるが、目標値には到達できていない。</p> <p>アンケートでは市全域の景観まで意識したことがないという回答のほか、景観に地域差や格差を感じるという回答があった。</p>				
主な意見 (ヒアリング)	<ul style="list-style-type: none"> ・景観をはじめ、まちの構成に統一性をあまり感じられない。(事業者) 										
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)									評価	
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業による景観形成	他の施策・事業と連携	<p>□景観賞</p> <p>景観賞を実施し、景観の向上に努力している方々を表彰することによって、全市的な景観に対する周知を図ることができた。</p>
	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構		
○			●	●	●	●	○				

3												
成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	70.0% (61.2%)	評価	全体の検証						
			実績値	66.9%								
成果指標・目標水準	(全体指標) 市内で魅力を感じる景観があると答える市民の割合		評価	☹	現状値と比べ、上昇結果となった。 魅力的であると回答のあった場所については緑や自然が豊かな場所など、自然景観に関する回答が多かった。 また景観に関する市民意識調査では、前回の調査ではなかった小野路(景観賞に入選)などが新たに挙げられている。							
	主な意見 (アンケート)	<input type="checkbox"/> 場所(問4の2) ・薬師、薬師池公園 ・尾根緑道 ・恩田川沿い ・芹ヶ谷公園、版画美術館 ・つくし野周辺(駅前、桜並木 など) ・成瀬周辺(駅前、桜並木 など) ・小山田緑地 ・野津田公園 ・小野路周辺(自然、緑、里山 など) ・玉川学園周辺(眺望、学園周辺、まち並み など) ・七国山 ・境川沿い <input type="checkbox"/> 特定の地名以外の主な意見(問4の2) ・自然、緑があるところ ・里山の風景 ・公園										
	主な意見 (ヒアリング)	—										
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)								評価			
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度		ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業による景観形成	他の施策・事業と連携	<input type="checkbox"/> 景観賞 <input type="checkbox"/> 他事業との連携 「小野路宿通り」は、地域の街づくり協議会や市内の他事業との連携により歴史的な街並みが整備され、「昔と現代をつなぐ良い景観」として、景観賞(文化・歴史景観部門賞)を受賞し評価を得た。
	●	●	●	●	●		●	△	●	●	●	
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム		町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構	△	
△	○	△	△	●	△		●	●	○	△		

4											
成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	6.0% (3.4%)	評価	全体 の 検証	自然環境などを大切に感じ、活動に取り組む人が増える環境を整えることや、活動を行っている人にスポットを当て、紹介することなど、市民・行政が連携しながら活動を推進していく方法を検討する必要がある。				
			実績値	4.4%							
	(重点目標 I-1) 里山の保全などの環境保護活動に参加したことがある市民の割合		評価	☹							
	主な意見 (アンケート)	【指標に関して】 ・森林保全(問13) ・河川清掃(問13) 【施策に関して】 ・環境保護活動に参加したい(問13)			里山の保全活動を行い、「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に選定されるなど、高い評価を受けている「奈良ばい谷戸」のような取り組みによって、実績値が上昇した。						
主な意見 (ヒアリング)	自然環境の保全活動が評価された。(市民活動団体)										
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)								評価		
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業景観形成	他の施策・事業と連携	<input type="checkbox"/> 市民活動の支援 境川の清掃活動に対し、住みよい街づくり条例に基づく、市としての支援を行っている。
	●	●	●	/	/	/	/	/	/	●	
景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構		<input type="checkbox"/> 住みよい街づくり条例の充実 街づくり協議会の活動内容として自然環境の保全を行っている会が存在する。	
	/	/	●	●	●	●	●	/			

5											
成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	➡ (-)	評価	全体の検証 眺望点を始めとした多様な景観要素を、市の景観の魅力として今後も維持していく必要がある。					
			実績値	0							
	(重点目標1-2) 地域景観資源(眺望点)の登録数		評価	☹							
	主な意見 (アンケート)	【指標に関して】 ・山の夕景(問1) ・眺望が良い(問2、3) ・高い建物で眺望が台無しに(問3)					制度の運用開始以降、登録がないため変動はないが、遠景、眺望を重要視する意見も見られる。				
主な意見 (ヒアリング)	—										
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)					評価					
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業による景観形成	他の施策・事業と連携	<input type="checkbox"/> 地域景観資源 登録制度を設けているが、現時点での登録はない。 <input type="checkbox"/> 景観賞 「成瀬の尾根道」は良好な眺望点として評価され、景観大賞を受賞している。 また、アンケート調査では地域の魅力的な景観として遠くに見える山なみなどを回答している。
	●	●	●	△	△	△	△	△	△	△	
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構		

6										
成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	40.0% (28.2%)	評価	全体の検証 市内の景観だけでなく、市内から望む遠くの景観についての重要性を認識することや、眺望を保全するために市民・行政が出来ることを検討していく必要がある。				
			実績値	31.4%						
	(重点目標 I-2) 丹沢・大山、丘陵の眺望の保全に積極的に取り組むべきと考える市民の割合		評価	☹						
	主な意見 (アンケート)	【指標に関して】 ・山の夕景(問1) ・眺望が良い(問2、3) ・高い建物で眺望が台無しに(問3)			市内の眺望に対する意識があり、前回調査から若干の上昇傾向にあるが、目標値には到達できていない。					
主な意見 (ヒアリング)	—									
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)								評価	
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業による景観形成	他の施策・事業と連携
	●	●	●	△	△	●	△	△	△	△
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構	
△	△	△	△	●	△	●	●	△		
<p>□景観賞 景観大賞として「成瀬の尾根道」の環境とその保全活動、そこから見える丹沢山系の眺望が選ばれている。</p>										

7											
成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	50.0% (38.7%)	評価	全体の検証	水辺の空間づくりには景観への配慮のほかに安全性や機能性への配慮が重要となってくるため、どのような手法や体制で景観づくりが行えるのか検討する必要がある。				
			実績値	42.6%							
	(重点目標Ⅰ-3) 河川や池など水辺の空間づくりに積極的に取り組むべきと考える市民の割合		評価	☹	上昇傾向にあるが、目標値には到達していない。水辺空間の更なる改善を求める意見も出ている。						
	主な意見 (アンケート)	【指標に関して】【施策に関して】 ・子どもが遊べる水辺空間(問6) ・川沿いの清掃を市民で行うのであれば参加したい(問13) ・遊水スペースの充実(問11)									
主な意見 (ヒアリング)	市内の河川について、整備されているものもあるが、機能面が目立ち、自然と一体になった河川とは言いがたい河川もある。 (市民活動団体)										
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)									評価	
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業景観形成	他の施策・事業と連携	<p>□公共事業景観形成指針</p> <p>水辺整備においては機能性・安全性に考慮しながら生物保護や景観保全を意識した整備として、「小野路宿通り」における水路再整備などを実施し、地域の景観向上に大きく貢献した。</p> <p>また、景観に関する市民意識調査では、水辺の空間づくりに関する市民活動へ参加したいという意見も出ている。</p>
	●	●	●	●			●	●			
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構		

8												
成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	65.0% (55.3%)	評価							
			実績値	60.4%								
	(重点目標Ⅱ-1) 居住地周辺の景観に好感が持てると感じる市民の割合		評価	☹								
主な意見 (アンケート)	【指標に関して】 ・季節の移り変わりが感じられる(問3) ・隣接地域との差を感じる(問3) ・特に印象に残るものではない(問3) ・良い印象を持ったので今の地域に住んでいる(問3) 【施策に関して】 ・今の印象から必要ない(問12)				実績値は上昇し、目標値に近づいている。季節の移り変わりなど身近な景観の変化に好感を持つ反面、印象に残らないという意見もあった。							
主な意見 (ヒアリング)	—											
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)						評価		全体の検証 好感を持ち、その景観を守り育てていくための取り組みも増加しているが、さらに地域へ愛着を持つ市民を増やしていくために啓発活動や取り組みを促進していくことが必要である。また、今後の運用においては、届出制度や地域ルールなどの制度をより活用していくための検討が必要である。			
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール			公共事業による景観形成	他の施策・事業と連携
	●	●	●	●	●	●	/	●			●	●
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよき街づくり条例の充実に	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞			景観整備機構	/
/	○	/	●	●	●	●	●	/	□届出制度 景観の視点から建築物等に対する基準を設けることで、居住地周辺をはじめとした市内の景観を良好に保つための運用が図られた。一方で、市が意図する景観配慮を、十分に行ってもらえない場合があるという課題も出ている。 □地域ルール 町内会・自治会や街づくりの活動を通して、地域の住民が自主的な景観に関するルールを作成、運用することで景観を守り育てていきたいとする事例がある。一方で、現状の景観に満足しているからルールをつくる必要はないという意見もあった。			

9											
成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	➡ (-)	評価	全体の検証					
			実績値	0							
	(重点目標Ⅱ-1) 生活風景宣言の登録数		評価	☹							
主な意見 (アンケート)	【指標に関して】 ・身近な景観の変化、移ろい(問1) ・特に印象に残るものではない(問3) ・良い印象を持ったので今の地域に住んでいる(問3) 【施策に関して】 ・どのように周知しているのか?(問8)				制度の運用開始以降、登録がないため変動はないが、身近な景観の変化に対して意識を持つという意見や、地域の景観に対して印象がないという意見が見られた。						
主な意見 (ヒアリング)	—										
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)									評価	
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業による景観形成	他の施策・事業と連携	<input type="checkbox"/> 生活風景宣言 登録制度を設けているが、現時点での登録はない。 <input type="checkbox"/> 景観賞 受賞したものの中には日常の景観や、その景観を守り育てる市民の活動などがあげられている。 取り組みについては生活風景宣言だけでなく、周知不足であるという意見が出ている。
	●	●	△	●	△	△	△	△	△		
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構		
△	△	●	△	●	●	●	△	△			

10											
成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	▲ (25.0%)	評価	<p>調査結果などを踏まえながら社会実験などの実績も重ね、中心市街地における景観のあり方を検討していく必要がある。また、関連する計画や事業などを各所と連携しながら実施していくことが求められる。</p>	<p>全体の検証</p>				
			実績値	26.9%							
	(重点目標Ⅱ-2) 町田駅周辺で長い時間楽しみたいと思う市民の割合		評価	😊							
	主な意見 (アンケート)	<p>【指標に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑多なところが良さだと思う(問7) ・エネルギー感、活気を感じられて良い(問7) ・今でも十分好きである(問7) <p>【施策に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほっとできる空間が必要(問7) ・ゴチャゴチャ感の解消(問7) ・まちと人が心地よく交わる環境づくり(問7) 		現状に対し、ゴチャゴチャしているという意見もある一方、その雑多な景観が町田駅周辺の個性であるという意見もあった。数値としては現状値から大幅に上昇、目標値も上昇している。							
主な意見 (ヒアリング)	<p>・良い面:にぎわい、雑多性、カジュアル感</p> <p>・悪い面:ゆとり空間が少ない、統一性が欠けている、色彩がバラバラ、宣伝看板等のルール不足(中心市街地関連団体)</p>										
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)								評価		
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業による景観形成	他の施策・事業と連携	<p>□公共事業景観形成指針</p> <p>町田バスセンターにおける照明実験など、駅前空間に配慮した事業の検討が行われている。</p>
		●	●		●	●	●	●	●	●	
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構		<p>□庁内連携</p> <p>公共事業景観形成指針による景観協議の実施のほか、中心市街地のまちづくりに関する庁内組織への参加などによって一体的な景観づくりができるよう検討している。</p>
					●						

11											
成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	1,125件	評価						
			実績値	1,389件							
	(重点目標Ⅱ-2) 違反広告物除却数			評価	☹						
	主な意見 (アンケート)	【指標に関して】【施策に関して】 ・違法性は無くても不快に感じるものもある(問10) ・あまり意識したことがない(問10) ・捨て看板が以前より減ったことが嬉しい(問10) ・ごちゃごちゃ感や品がない印象を与える原因になっていると感じる(問10) ・生活に密着したものは良い(問10)				除却作業には市民ボランティアや事業者も参加しながら取り組みが行われている。					
主な意見 (ヒアリング)	—										
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)									評価	
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業による景観形成	他の施策・事業と連携	□ガイドラインの方針 町田市景観色彩ガイドラインにおいて、建物や屋外広告物の色彩やデザインにおける考え方を図示しているため、事業者からの問い合わせもあり、関心が高まっている。
	●	●	/	●	/	●	●	●	/	/	
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構	/	
○	○	/	/	●	●	●	●	/	/		

市民との連携による実践的な取り組みについては今後も継続しながら、屋外広告物のルールづくりなど今後の広告物景観のあり方についての検討が必要である。

全体の検証

12													
成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	▲ (27件)		評価							
			実績値	47件									
	(重点目標Ⅱ-3) アダプト・ア・ロード事業管理協定締結数		評価	☺									
	主な意見 (アンケート)	【指標に関して】 ・アダプト・ア・ロードに参加(問8)					実績値が目標値を達成している。						
主な意見 (ヒアリング)	—												
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)										評価	良好な景観と環境づくりのために、市民の自主的な取り組みが重要であることを踏まえ、今後も協定締結数を増やしていく必要がある。 全体の検証	
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業景観形成	他の施策・事業と連携	●		□市民活動の支援 景観づくり市民サポーター(第1期)が花植え活動を、アダプト・ア・ロード制度に登録し、サポーターの任期満了後も独立して活動を継続している。
	●	●	△	●	△	△	△	●	△	●			
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構	△			
△	△	△	△	△	△	△	●	△	△				

13										
成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	3,440m (2,240m)	評価					
			実績値	3,440m						
	(重点目標Ⅱ-3) 無電柱化路線延長		評価	☹						
	主な意見 (アンケート)	【指標に関して】 ・電柱地中化(問6:お住まいの地域または市内の景観で、必要なものはありますか?) ・電柱電線(問11:これからの景観づくりで、積極的に都r組むべき内容はどのような内容だとお考えになりますか?)			実績値が目標値を達成している。アンケートでも今後の景観づくりにおいて必要な取り組みとして意見が出ている。					
主な意見 (ヒアリング)	—									
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)								評価	
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業による景観形成	他の施策・事業と連携
		●						●	●	
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構	
		●								
<p>□公共事業景観形成指針 指針制度を活用し、道路景観の向上のため、検討を進めているほか、小野路宿通りでは町内会や街づくり協議会、東京都等と連携し無電柱化事業を進めている。</p>										
<p>全体の検証 道路機能と景観の向上において重要な取り組みであることを踏まえ、今後も推進していく必要がある。</p>										

14											
成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	▲ (20.2%)	評価	全体 の 検証	文化財を始め様々な資源を景観資源としてどの様に活用していくべきなのか、関係各所と連携して検討していく必要がある。				
			実績値	11.6%							
	(重点目標Ⅲ-1) 市内の遺跡や有形・無形の文化財を見に行った市民の割合		評価	☹							
	主な意見 (アンケート)	【施策に関して】 ・様々な景観資源を財産とし、守り、活かし、育て、造るなど街育てを行う(問11) ・歴史等景観資源の保全(問11)		景観に関する市民意識調査では、市内の歴史的景観資源を保全し、活用していく必要があるという意見が出た。							
主な意見 (ヒアリング)	—										
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)						評価				
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業景観形成	他の施策・事業と連携	<input type="checkbox"/> ホームページの活用 有形・無形文化財については市のホームページにおいて指定状況が公開されている。 <input type="checkbox"/> 景観賞 文化・歴史景観部門では、歴史的景観や、その景観を守り育てる活動を表彰した。 また、その結果は、パンフレット等によって広く周知を図った。
	●	●	/	/	/	●	/	/	/	●	
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよしい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構		
/	/	/	/	/	●	/	/	/			

15											
成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	19/23軒 (2/23軒)	評価	板塀設置軒数は目標値に到達し、歴史的な街並みの再生へと繋がった。また景観に関する市民意識調査では、景観資源の保全活用について意見があった。	全体の検証	板塀設置についてはほぼ完了状況にあり、その環境を維持していくことが重要である。また、成果指標を今後どのように扱うべきか検討する必要がある。			
			実績値	19/23軒							
	(重点目標Ⅲ-1) 小野路宿通り修景区間板塀設置件数		評価	☹							
主な意見 (アンケート)	【指標に関して】【施策に関して】 ・様々な景観資源を財産とし、守り、活かし、育て、造るなど街育てを行う(問11) ・歴史等景観資源の保全(問11)										
主な意見 (ヒアリング)	—										
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)									評価	
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業景観形成	他の施策・事業と連携	□住みよい街づくり条例による支援制度の運用 まちづくり協議会を立ち上げ、地域のまちづくりと景観づくり活動の検討が行われている。 □景観賞の受賞 歴史・文化景観部門として受賞。景観と市民の活動が評価された。
		●	●			●					
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構		
			●		●		●				

成果指標・目標水準	指標		目標値(現状値)	➡ (-)	評価							
			実績値	0								
	(重点目標Ⅲ-1) 地域景観資源(建造物・樹木)の登録数		評価	☹	制度の運用開始以降、登録がないため変動は無いが、様々な制度において景観的に価値のある資源が登録されている。							
	主な意見(アンケート)	【指標に関して】【施策に関して】 ・様々な景観資源を財産とし、守り、活かし、育て、造るなど街育てを行う(問11) ・歴史等景観資源の保全(問11)										
主な意見(ヒアリング)	-											
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)								評価	全体の検証 制度の現状やその他制度の運用状況を踏まえながら、今後の運用について検討する必要がある。		
	市民生活の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業による景観形成		他の施策・事業と連携	<input type="checkbox"/> 地域景観資源の登録 登録制度を設けているが、現時点での登録はない。
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構		<input type="checkbox"/> 景観賞の受賞 本町田の宏善寺や成瀬の大しだれ桜が市民により推薦され、選定された。	
								●	○			

指標		目標値 (現状値)	40.0% (30.6%)	評価							
		実績値	23.7%								
(重点目標Ⅳ-1) これまでに景観に関する取り組み・活動に参加したことがある市民の割合		評価		<p>取り組んでいるという意見がある一方で、実績値が目標値に到達しておらず、周知不足等を指摘する意見もある。</p> <p>自然環境保全活動など、団体による活動の参加だけでなく、町内会などの清掃活動をはじめとした日常的取り組みも景観づくり活動であることを広く周知し、景観づくりに関わる市民を増やしていく必要がある。</p> <p>全体の検証</p>							
成果指標・目標水準	<p>【指標に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なところからは始めている(公園清掃、花の飾りつけ)(問13) ・周知されていないのでは(問13) ・このような活動があることをアンケートではじめて知った(問13) <p>【施策に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保護活動に参加したい(問13) ・市からのPRがないため(問13) ・参加したいが参加の方法が分からない(問13) 										
	<p>主な意見(ヒアリング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山などの自然環境の保全活動に参加した。(市民活動団体) ・地域のまちづくり、景観づくり活動に参加した。(市民活動団体) ・市が行った都市計画マスタープラン、景観系格闘の市民調査会に参加した。(市民活動団体) ・若い人を取り入れる必要がある。関わりがなく、活動の世代交代が上手くいかない。(市民活動団体) ・活動の中で小中学生との交流はあるが、大学氏との連携があまりないので積極的にできればと思う。(市民活動団体) ・まず市民や来街者への啓もう(中心市街地関連団体) 										
指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)				評価							
実践施策	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業による景観形成	他の施策・事業と連携	<p>□市民活動の支援</p> <p>行政は景観づくり市民サポーターの事務局として、市民の自主的な活動を支援している。</p>
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構		<p>□景観づくりセミナー</p> <p>市民が景観に対して関心を持つ機会の提供として景観づくり市民サポーターなどと連携してイベントを開催した。</p> <p>また、ヒアリング調査において実際に市民活動を行っている市民などからは若い世代との交流や連携、周知の推進についての意見が出ている。</p>
						●	●	●	●		

18													
成果指標・目標水準	指標			目標値 (現状値)	3件 (-)	評価							
				実績値	3件								
成果指標・目標水準	(重点目標Ⅳ-1) 景観に関するガイドラインの策定数(公共事業景観形成指針含)			評価	☹	公共事業景観形成指針を含めて3件策定され、運用されている。 また、運用されているながら市民・事業者共に周知が不足しているという意見も出ている。	全体の検証	市の景観形成に必要なツールとしてのガイドラインは、ほぼ策定が済んでいる。今後は、ガイドラインの運用を推進し、より良い景観づくりを進めていく必要がある。					
	主な意見 (アンケート)	【指標に関して】 ・知らなかった、アンケートではじめて知った(問8) ・関心がなかった(問8) ・正直意識したことがなかった(問8) 【施策に関して】 ・どのように周知しているのか?(問8) ・取り組みによって何が変わったのかわからない(問8) ・企業への周知不足を感じる(問8) ・身近ではないと感じる(問8)											
	主な意見 (ヒアリング)	・制度も計画も十分に浸透していないと感じる。(事業者)											
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)						評価	□ガイドラインの活用 □公共事業への活用 (町田市景観みちしるべ、町田市景観色彩ガイドライン、公共事業景観形成指針) ガイドラインは届出や公共事業などの事業計画時に行政内・事業者の理解を促すためのツールとして利用されている。 一方で、ガイドラインの周知が十分ではない事や内容が分かりにくいという意見も出ている。					
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験				事業者によるルール	公共事業景観形成	他の施策・事業と連携
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー				景観賞	景観整備機構	
			●			●							

19											
成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	80.0% (77.6%)	評価	景観に関する市民意識調査の中では、現状の景観に対して満足しているという答えや、時代に合わせた改善が必要などの回答があった。一方、ルール自体を知らないという意見もある。	全体の検証 景観についてルールが必要という市民が多いことから、市民による自主的な景観づくりを行政と協働により進めていく必要がある。				
			実績値	84.5%							
	(重点目標Ⅳ-2) 市内の建物などについて、まわりの景観と調和させるようなルールが必要だと考える市民の割合		評価	☺							
	主な意見 (アンケート)	【指標に関して】【施策に関して】 ・(内容や決め方など)ルールを知らない、理解していない(問12) ・知らないので知りたいと感じる(問12) ・時代に合った改善は必要(問12) ・できるところからやっていくべき(問12) ・今の印象から必要ない(問12) ・高さ、デザインなど制約がある中でも多様性を生むまちづくり(問12の2)									
主な意見 (ヒアリング)	—										
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)								評価		
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業による景観形成	他の施策・事業と連携	□市民による地域のルール 地域ルールについては、住みよい街づくり条例に基づき、登録された10団体中、8団体が地域ルール(地区街づくりプラン)を策定し、活動をしている。 その他、景観協定を2地区で認可している。
	●	●	△	●	●	●	△	●	△	△	
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構		
△	○	△	●	●	●	●	△	△			

成果指標・目標水準	指標		目標値 (現状値)	3地区 (一)	評価						
			実績値	3地区							
	(重点目標Ⅳ-2) 景観形成誘導地区(市民提案)の指定数		評価	☹	3地区の指定がされており、目標値を達成している。景観に関する市民意識調査では、様々な景観資源を活かした街づくりの必要性や、地域に対する思い入れが無いという意見が出ていた。						
	主な意見 (アンケート)	【指標に関して】 ・良い印象を持ったので今の地域に住んでいる(問3) ・様々な景観資源を財産とし、守り、活かし、育て、造るなど街育てを行う(問11) ・地域に対する思い入れがないので興味関心がない(問15)									
	主な意見 (ヒアリング)	—									
実践施策	指標に対応する実践施策の実施状況(●:実施済/○:未活用)									評価	
	市民活動の支援	生活風景宣言	地域景観資源	市民による地域のルール	届出制度	ガイドライン	景観社会実験	事業者によるルール	公共事業による景観形成	他の施策・事業と連携	<input type="checkbox"/> 市民による地域のルール 指定はないが、景観協定や地区街づくりプランなどによって現在の良好な景観を残しながらまちづくりを進めている地域がある。
	景観協議会の活用	景観地区等のルール	審議会の設置・運用	住みよい街づくり条例の充実	街づくりフォーラム	町田市公式ホームページ	景観づくりセミナー	景観賞	景観整備機構		
			●	●	●	●					

全体の検証

より地域に対して関心を持ってもらうことの重要性を踏まえながら、目標値を達成していることから、成果指標として今後どの様に扱うべきか検討する必要がある。

